

ひまねき

警固屋学園通信
第117号
令和3年7月20日
発行

平和を願う心・・・七月一日の取組

昭和二十年七月一日の夜中から二日にかけて、呉の町は空襲を受け、多くの方がなくなり、つらい思いをされた方もたくさんおられました。

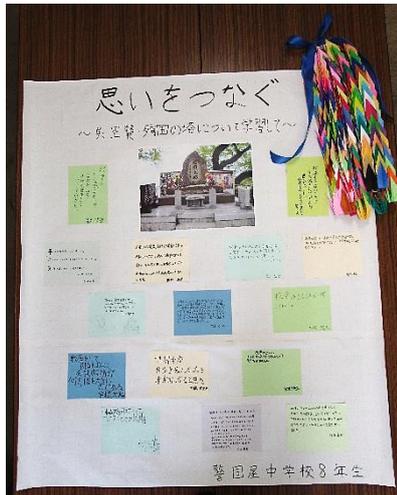
呉市では、七月一日を呉空襲犠牲者慰霊・恒久平和祈念の日と定めています。警固屋学園でも、改めて平和について考え、呉空襲の犠牲者の方の冥福を祈ることができるよう、十二時から一分間の黙祷を捧げました。

小学校の給食では、当時の食事について考えられるよう、すいとんを食べました。子どもたちは呉の地で空襲があったことの悲しさを感じると共に、今の平和について考えたり、みんなが元気でいることの大切さを感じたりすることができたようです。



中学校でも、七月一日を迎える前に呉空襲のことや、毎年六月二十二日に鍋山第一公園で行われていた殉国の塔慰霊祭のことについて学習しました。「殉国の塔」という慰霊碑に関わる地域の方々の思い、平成十二年度から令和元年まで警固屋学園の八年生が毎年参加させていた「新生 殉国の塔慰霊祭」に対する先輩たちの思いなど、新聞記事や手記、自作の道徳資料などを使いながら学びました。

そして、八年生では学習したことをもとに、自分たちが感じたこと・考えたことを「思いをつなぐ」という掲示物としてまとめ、殉国の塔に捧げる折り鶴も作りました。



小学生の感想

◇呉で、たくさんの方が亡くなって悲しい日だとわかりました。戦争をしないで、ずっと平和が続いてほしいです。

中学生の感想

◇二度と同じような戦争が起こらないように自分たちがまず戦争について理解し、下の学年や将来の自分子どもたち、孫の代まで伝えることができるようにしたいです。

学園朝会

いじめ撲滅標語の紹介

六月八日（火）に、学園朝会が行われました。今月の学園朝会では、感染症対策として、放送でいじめ撲滅標語の紹介を行いました。小学校、中学校それぞれで選ばれた標語とその標語に込められた思いを発表しました。

【選ばれた作品】

一年 岡田 美咲さん
「あそぼうよ
なかよくなれる
あいことば」

七年 田守 祐希くん
「やめようよ
言える人こそ
救世主」

これらの作品は、いじめ撲滅キャンペーン中、各教室や校内に掲示し、児童生徒がいつも見られるようにしています。



《編集後記》

ご意見・ご感想は、警固屋小学校・中学校にお寄せください。窓口は各教頭が担当いたします。